萩ジオパーク
推進協議会だより vol.125

萩ジオパーク推進協議会
｜2025年7月31日発行｜
〒758-0041
山口県萩市大字江向602　萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765　0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject
@hagi_geopark

学校内で海洋ゴミを探究！　～明倫小学校４年生～

萩市立明倫小学校では、４年生が萩の海岸に漂着する「海洋ゴミ」を調べたり、それを清掃する人の話を聞いたり、この問題をどうしていくかを考えたりする授業が行われてきました。この授業に参画していた堀が萩博物館からジオパーク推進課に異動したのを機に、担任の先生と白井専門員と堀がこの授業を「ジオパーク」的にアレンジし、7月7日（月）、萩ジオパーク推進協議会の出前授業として実施しました。

会場となった体育館には、なんと、萩の海岸で集めたホンモノの「海洋ゴミ」が持ち込まれています。児童の皆さんにはまず、それを「捨てるべきゴミ」と「ゴミではないもの」に分別してもらいました。すると、多くの班が、匂いのある海藻などを「ゴミ」、プラスチック容器などまだ使えそうなものを「ゴミではないもの」に分けていました。

ところが、堀が海岸に漂着する海藻が砂浜に栄養をもたらしたり小動物の餌になったりしていることを、さらに白井専門員が人の立場や価値観によって「ゴミ」と「ゴミではない」は変わることを話した上で、先ほどの「海洋ゴミ」を今度は「生き物」の立場を考えて再分別してもらいました。・・・すると、今度は多くの班がプラスチック容器などを「ゴミ」、海藻などを「ゴミではない」と分別したのです。わずか１時間足らずで、児童の皆さんは日頃と違う視点をもつきっかけが得られたようですね。

ジオパーク学習は、土地の生い立ちや自然環境と人の暮らしのつながりに目を向けたり、視点を変えて見たりして持続的な社会づくりを考えていく環境学習でもあります。今後の小中学校の総合的な学習の時間やふるさと学習などにも、このようなジオパーク学習を取り入れてみてはいかがでしょうか。

川上小学校で藍復活プロジェクト継続中！

昨年スタートした「川上藍復活プロジェクト」が、今年も継続して進行中です。きっかけは、ジオパーク的視点で地域を学びたいという川上小学校からのご相談でした。昨年度は、藍染の原料となるタデアイを栽培し、自分たちで育てた葉を使って「たたき染め」や「生葉染め」に挑戦。地域の大地と暮らしのつながりを体験的に学びました。

今年は、さらに一歩踏み込み、昨年収穫した乾燥葉から染料を作るなど、より発展的な内容に取り組んでいます。6月20日には、ジオパーク専門員が再び学校を訪問し、5・6年生に向けて「川上の大地と藍の関係」をテーマに出前授業を実施。地形模型パズルや他地域との比較を通して、土地に合った産業の大切さを考えました。

さらに7月15日には、地域の大人たちが立ち上げた団体「遠谷TERRA」を講師に迎え、全校児童を対象とした藍染体験を実施。これまでの活動中で出てきた子どもたちの疑問に応えるべく、事前の打ち合わせや試行錯誤を重ね、技法や素材の違いによる色合いの変化を体感してもらいました。

学校、地域、専門家が一体となって進めるこの取り組み。ジオパークはその懸け橋として、これからも子どもたちの学びと成長を応援していきます。続報にご期待ください！

五島列島ジオパークからガイドさんが視察に来られました

7月8～9日、長崎県の「五島列島ジオパーク」からジオガイドのお二人が萩ジオパークを視察に訪れました。日頃からSNSで活動を見てくださっており、手法を学び取り入れたいとのことでした。萩城下町のまち歩きや笠山での火山実験、須佐ホルンフェルスのガイドを体験したほか、講座やイベントの企画についても室内でじっくり意見交換を行いました。萩独自の定番プログラム「地球を食べる食堂」や「地形模型をつくろう」の五島版を一緒に進める話も生まれ、今後の連携が楽しみです。

日本ジオパークネットワークの各種会議に参加しました

7月1日（火）、認定特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク第１８回通常総会が東京の日比谷図書文化館で行われ、堀事務局長が出席しました。日本ジオパークネットワーク（以下「JGN」）は、国内のジオパークとジオパーク認定をめざす地域をサポートし、ジオパークのネットワーキングの軸となるNPO法人で、萩ジオパークを含め日本ジオパークに認定されている48地域が正会員、ジオパーク認定を目指す６地域が準会員となっています。総会にはそれら正会員や準会員の代表者が集まり、JGN事務局より2024年度の事業や決算、2025年度の事業計画や予算が提出され、承認されました。

引き続き７月２日（水）、国立オリンピック青少年総合センターにて、JGN全地域事務局長会議が開催され、これにも堀事務局長が出席しました。まず、JGN事務局による事務や事業に関する経過報告や、外部団体からJGNへの情報提供や企画提案がありました。その後、全地域事務局長がいくつかのグループに分かれ、グループごとに①各地域のジオパーク活動について、②JGN全国大会のあり方について、③JGN中期計画における事業評価について意見交換しました。

「萩ジオパーク・フィールドラボ」始動!

火山実験で萩の火山の成り立ちを学んだり、五感を研ぎ澄ませて夜の砂浜を散策したり…。萩ジオパーク推進協議会では毎年、「夏休みだ！萩ジオパーク行こう」と題して、小中学生を対象に夏休みならではの特別な体験をご提供してきました。

そんな夏の企画ですが、今年は大幅にモデルチェンジ！「萩ジオパーク・フィールドラボ（野外研究室）」と名づけ、野外調査プログラムを実施します。目の前に広がる景色は、地球が生み出したもの。そして、それらは人々の暮らしと深い関わりがあります。そんな大地の誕生の秘密や、人々との知られざるキズナを解き明かすことを使命にした研究室の本格的な野外調査に、「特別調査員」として参加していただくというものです。

今年は、日の入り前後の菊ヶ浜を調査する「菊ヶ浜トワイライト砂浜ラボ」、笠山・虎ヶ崎周辺の磯を調査する「笠山ゴツゴツ溶岩ラボ」、越ケ浜の風穴を調査する「笠山ヒエヒエ風穴ラボ」の３種類の調査活動を実施します。

今回も例年同様、萩ジオツーリズム協会や笠山ジオの会の皆さんにご協力いただきます。ただ、参加者に体験を提供するこれまでの手法と違い、参加者と一緒に未知の世界を調査するという初めての試みです。企画会議や現地の下見を何度も何度も重ねて準備を進めてきました。その甲斐あってか非常に多くのお申し込みをいただいており、中には定員の5倍を超えるものも！

それぞれの調査の様子は次号でお伝えする予定です。一体、どのような調査結果が得られるのでしょうか？？どうぞお楽しみに！

令和７年度萩市ジオパーク活動補助金の再募集

1. 募集期間　　令和6年8月18日（月曜日）まで
2. 補助上限額　20万円
3. 対象の事業　大地の遺産の保全、再生、維持のための活動、大地の遺産を伝えるための教育活動や普及活動、研修会等の開催など
4. 対象者　市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織で、事業終了後もジオパークの活動を継続して実施または支援する意思のある団体（構成員5人以上）
   ※1人以上は萩市内に住所を有する者であること
5. 事業期間　　交付決定日（9月上旬ころ）～令和8年3月20日（金）まで
6. 申し込み・お問い合わせ　萩市ジオパーク推進課　21-7765

※詳細は萩市HPをご覧ください。

わっきー教授のジオ・ワールド　⑬　ギャウ(アイスランド)

地球の表面は、10数枚のプレートで覆われています。日本付近の海溝では、その海のプレートが地球内部に沈み込んでいて、地震や火山噴火を引き起こしています。一方、日本とは反対に、海のプレートが生まれて広がっていく場所(海嶺)もあります。そのような海嶺のほとんどは太平洋や大西洋の深い海の底にあります。ところが世界で一箇所だけ、海嶺が海の上に顔を出している場所があるのです。それがアイスランドです。アイスランドの地下では、大量のマグマが継続的に形成され、そのためもともと大西洋の海底にあった海嶺がどんどん盛り上がって、海面より高くなってしまったのです。ほとんどの海嶺は海の底にあるので、直接観察するのが難しいのですが、アイスランドでは海のプレートが生まれる様子を陸上で見ることができます。それが、アイスランドでギャウ(gjá)と呼ばれる大地の裂け目です。単に割れるだけではなく、割れ目から大量の溶岩が噴き出します。アイスランドは、アイスどころか、熱いマグマの噴出が絶えない、熱い熱い島なのです。

笠山山頂展望台『鳶ノ巣カフェ』　お盆期間は営業時間延長！

お盆期間（8月9日(土)～16日(土)）、午前10時から午後５時（ラストオーダーは午後４時30分）まで営業時間を延長します。ご当地コーヒー夏メニュー「コールドブリュー１１２」も販売中です。ぜひお越し下さい。

※８月12日(火) 休み

※通常営業は午前10時から午後４時まで

フォローしてね！

8月～9月の予定

●夏休みだ！萩ジオパーク行こう 火山ゴツゴツ溶岩ラボ　8月3日(日)9:30～11:00　場所：虎ヶ崎　内容：笠山の磯の海にひざまで入り、溶岩にひそむ生物を観察　参加：事前申込要(詳細は協議会HP参照)　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)　協力：笠山ジオの会

●萩ジオパーク推進協議会 学校教育連絡会議　8月5日(火)9:30～11:30　場所：萩・明倫学舎１号館展示映像室　内容：萩市・阿武町・山口市阿東地域のジオパーク学習を普及・推進するため、小中学校の担当教員等で事例報告や意見交換　参加：学校関係者のみ　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●夏休みだ！萩ジオパーク行こう 笠山ヒエヒエ風穴ラボ　8月9日(土)9:30～11:00　場所：明神池、厳島神社など　内容：風穴のメカニズムやそれを生かした先人のテクニックを探究　参加：事前申込要(詳細は協議会HP参照)　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)　協力：笠山ジオの会

●夏休みだ！萩ジオパーク行こう 菊ヶ浜トワイライト砂浜ラボ　8月9日(土)18:30～20:00　場所：菊ヶ浜　内容：日没前後の砂浜に裸足で挑み、浜辺の生物を探究　参加：事前申込要(詳細は協議会HP参照)　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)　協力 萩ジオツーリズム協会

●萩ジオパーク推進協議会 幹事会　8月20日(水)13:30～14:30　場所：萩市ジオパーク推進課　内容：萩ジオパークエリア内の自治体の担当者が本年度や来年度の課題・展開などを協議　参加：担当者のみ　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●萩ジオパーク推進協議会 活動交流会　8月20日(水)15:00～17:00　場所：萩・明倫学舎３号館交流室　内容：萩ジオパークに関わってきた個人・団体が互いの活動や今後の展開について意見交換　参加：事前申込要(詳細は協議会HP参照)　主催：萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

○geoとも(萩ジオ友の会)定例会　8月23日(土)　場所：十種ヶ峰　内容：十種ヶ峰、阿武川の源流・泉、石灰岩と庭園、阿武火山群などを車で探訪　参加：会員のみの限定　主催・問合せ：geoとも(中西 080-8747-9383)